報 特 許 公

1736 - 12194

公告 昭 36.7.31 出願 昭 34.11.6

酉 志 明 者 発

同

出

Ξ 昭 原 宫

同

治 I 正 堀 株式会社日本オルガノ

願 代理人 弁理士

人

商会 Ш 輝 雄 谷.

特願 昭 34--34841

横浜市鶴見区鶴見町72 相模原市上鶴間4826の9

鶴ヶ丘住宅22の8

東京都大田区糀谷町2の280

東京都文京区菊坂町8

(全2頁)

## 法 业 嫉 耐 の 柎

## 発明の詳細なる説明

焼酎とは蒸溜酒の一種であり、現在わが国では 醱酵後蒸溜器にかけ、過マンガン酸カリ処理又は. カーボン処理若しくは両法の併用等に依り得られ たものを原料として製品を作つ てい る状態であ

現在時勢の変遷に併い酒類の風味に対し、人々 の嗜好に著しい変化を来たし、従来より存在する 粕取臭、米醪取嗅、泡盛嗅、甘藷焼酎臭等の特徴 ある嗅気は余り好まれぬ様になり、寧ろ無嗅に近 いものが好まれる様になつて来た。

それ故精巧なる蒸溜器を使用した場合殆ど不純 物の含まない無嗅純良なフルコール原料酒が得ら れるが、時には所謂未與喚を有す る も の が得ら れ、在来の単式又は複式蒸溜器にて得られた本格 焼酎原料には刺戟臭を有する低沸点化合物並びに 所謂末栗と称する高沸点化合物が共沸して来るた め所謂焼酎嗅がある。

これらの焼酎嗅は従来の方法では余り効果的に は除去出来なかつたものであるが、本発明に依れ は効果的にこの焼酎嗅を除く事が出来、現在の味 覚に適した製品が精巧なる蒸溜器を使用せずに低 コストで得られる。又この処理に依り製品の品質 をも上昇し得る事は云う迄もない。

本発明の第一段階では蒸溜にて得られた原料酒 にアルカリを加え微酸性とし、過マンガン酸カリ を加え有嗅物質及び有機物を酸化分解せしめ、次 で必要あらばカーボン処理を行なう。

その第二段階では強塩基性陰イオン交換樹脂を NaHSOaにて活性基を一HSOs型となした樹 脂層に流通せしめるか又は NaHSOsを原料酒 中に添加し、15~30分間攪拌しそれぞれ酸化生成 物のカルボニル化合物並びに原料酒中より由来し たカルポニル化合物と反応を行わしめる。

次で強酸性陽イオン交換樹脂のH型と強塩基性 陰イオン交換樹脂のOH型とを組み合せた混床式 又は二床式樹脂層に前記処理液中のNa+HSOm カルボニル附加化合物、その他原料酒より由来し た有機酸並びに酸化生成物より由来した有機酸稀 釈水より由来した無機灰分等を除くために流通せ しめる。

これらの処理にて刺戟嗅及び灰分の殆ど無い淡 白純良なる製品となす事が出来た。

米を原料として単式蒸溜器で採取した焼酎2001 に沈降性炭酸石灰を加えてPH6~7となし、これ に4gの KMn O, を少量の温湯に溶解したもの を投入攪拌する。紫色が無くなつた時必要であれ は活性炭素20gを加えて濾過する。強塩基性陰イ オン交換樹脂Amberlite IRA-401、32 l を単 床式にて5%NaHSO₃ 溶液約601を空間速度 5で通液せしめ水にて洗滌し HSO3型に調整し

次に強酸性陽イオン 交換樹脂 Amberlite IRー 120、81と強塩基性陰イオン交換樹脂 Am berlite IRA - 402, 16 l を用いた混床式イオン交換装 置をそれぞれH型、OH型となした。そして先に 得られた焼酎を 1601/Hr の流速で単床式一混床 式の願にて流通せしめた。

その結果、次の如き精製酒が得られた。

•	樹脂処理前	樹脂処理後
アルコール濃度	25%	25 <i>%</i>
遊離酸	10mgC a CO <sub>3</sub> /l	1mgasC a C O 3/1以下
SiO <sub>2</sub>	8 . "	
Total Anion	68 "	_
Total Cation	50 "	<del></del>
比伝導度	59μປ/cmat20 C	1 / U / cm以下
還元性物質	20mgas CH <sub>3</sub> CHO/l	痕 跡
MeOH		変らず ・
フーゼル油		変らず

上記分析値からも判断される如く無機灰分、遊離酸、還元性物質等が相当除去されると共に、所謂焼酎嗅も殆ど完全に除去し得たので製品としては純良なるものである事が判る。又官能試験の結果所謂焼嗅破も殆ど除去出来、雑味の少ないすつきりとした味であるとの評を得た。

従つて分析結果からも又官能試験の結果からも 品質の向上したと認められ又現在の味覚にあつた 製品となし得る事が出来た。

## 特許請求の範囲

単式又は複式蒸溜器又は連続式蒸溜器にて得られた焼酎を過マンガン酸カリで処理又は之と活性 炭処理を行つたものにつき、之を酸性亜硫酸型の 強塩基性陰イオン交換樹脂に流通せしめるか又は 酸性亜硫酸塩を添加し、然る後水素型の強酸性陽 イオン交換樹脂及び水酸基型の強塩基性陰イオン 交換樹脂より成る混床式又は複床式の樹脂層に流 通せしめることを特徴とする焼酎の精製法。